令和９年度　北区 特色ある区づくり予算区企画事業　自治協議会委員からの提案一覧　**報告資料１**

	提案者	地域課題	提案・アイデア
1	小田委員	福島潟の認知度が低い	福島潟をもっと知ってもらうためのイベントを開催する。 例えば、福島潟をテーマにした写真コンテストや写生コンテストを実施する。
2	小田委員	豊栄駅前通り（南口側）の活性化 アーケード通りが静まり返っており、少し道に入ると草が生い茂っている箇所もある	豊栄駅前通り（南口側）で清掃活動や花植えを実施し、駅前の環境美化とにぎわいづくりにつなげる。
3	小田委員	北区の郷土料理を次の世代へ引き継ぐ必要がある	北区の郷土料理を学ぶ会を開催する。 地元に長く住んでいる人しか知らない郷土料理を、北区へ転入してきた人にも知ってもらい、地域への愛着を育む機会とする。
4	佐藤（茂）委員	年々悪化する買い物（移動）事情	・乗合交通（バス、タクシー等）の構築 ・「北区宅配生活支援サービス」（R4 発行）の再構成
5	佐藤（茂）委員	各種地域活動の高齢化、および担い手不足	・既存のボランティア登録制度を拡充し地域活動参加に対する「敷居」を下げる ・担い手不足に悩む地域活動組織に活動情報を挙げてもらい、広報に協力する
6	佐久間委員	こどもの健やかな成長には、学校での勉強だけではなく、学校の外での学びである「社会教育」が大切だと考えている。 しかし現状では、多様な人との交流やコミュニケーション力、「正解のない問いに向き合う力」などを、自然・地域での体験を通して学ぶ機会が不足していると感じる。	10～20 歳を対象とした野外キャンプを開催する 事業案「みんなで挑戦！海辺の森アウトドアキャンプ」 自然の中での共同生活や野外活動を通して、参加者同士の交流を深めるとともに、自主性・協調性・責任感を育む。また、「自分で考える・仲間と協力する・最後までやり遂げる」体験を通して、自信や達成感を得る。 年齢別に役割を設ける。例えば、10～12 歳は基本的な野外活動を体験、13～15 歳はグループ活動の中心メンバー、16～20 歳はジュニアリーダーとして年少者をサポート。 対象：10～20 歳　定員：30 名程度